

2019 年 3 月 6 日

西菱電機株式会社

国内アパレル工場、製造機械 100 台を IoT 化
～人手不足の製造業で生産性を上げる IT の活用～

西菱電機株式会社（本社事務所：大阪府大阪市、代表取締役社長：西岡 伸明、以下「西菱電機」）は、第一ニットマーケティング株式会社（本社：新潟県見附市、代表取締役社長：近藤 英雅、以下「第一ニットマーケティング」）に、ニット製造機械（横編機）100 台分の IoT サービスを導入いたしました。

ニット製造機械の運転が停止した場合、従来は、作業者は各機器に設置された信号灯を目視で確認をして作業をしていましたが、IoT の導入で次に作業が必要な機械が判別されるようになったことで、技能の習熟度に依存せず作業ができるようになりました。製造機械の停止状態である「チョコ停」（※1）の時間を減らすことで、稼働率が上がり、生産性の向上が見込まれます。



■導入内容

ニット製造機械「横編機」の IoT 化のため、「信号灯状態検知ユニット」を採用しました。特長は、今ある工場機械に後付けができ、センサー単独では電源がいりません。信号灯から機械の稼働状態を「稼働中」、「停止中」、「異常停止」の 3 つに判別し、工場内に設置したモニターに表示することで、作業者は、次に作業すべき機械が分かるようになります。これにより、製造機械の停止状態である「チョコ停」の時間を減らすことができ、稼働率が上がり、生産性の向上が見込まれます。

※1 「チョコ停」とは、製造機械が何らかの理由で短時間に繰り返し停止すること

■第一ニットマーケティング

新潟県見附市は、新潟県の中央に位置し、産業では全国有数の総合繊維産地です。その中で第一ニットマーケティングは、昭和 26 年に織物製造会社として事業を始め、ニット製品の企画・製造・販売事業、ニット用原糸販売事業、原糸仮撚加工事業を行っています。同社は、ハイゲージニットの製造技術を中心に実績を重ね、その分野で高い評価を得ています。

■西菱電機株式会社

IoT サービスを中心とする「IoT 事業」、携帯情報通信端末の販売及び修理再生などを手がける「情報通信端末事業」、情報通信機器及びシステムの開発、販売、保守、運用を手がける「情報通信システム事業」を展開する ICT ソリューション企業です。

■「Seiry Business Platform (SBP)」とは

「Seiry Business Platform (SBP)」では、「IT で仕事をポジティブに、そして生活を豊かに」をサービスコンセプトとして、業務効率化や生産性向上のためのサービスを提供しています。例えば、産業機械の稼働状況の可視化、圃場の環境の可視化、社内の屋内環境の可視化などの IoT サービスや、業務報告ツール「Check-in (チェックイン)」、IP トランシーバーアプリ「Transceiver (トランシーバー)」、インカムアプリ「Incom+ (インカムプラス)」などのコミュニケーションサービスなどを提供しています。

【本件に関するお問い合わせ先】

西菱電機株式会社 本社事務所：大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル

広報グループ（本社事務所）TEL：06-6345-4160

事業開発本部（東京支社）TEL：03-5777-3944 E-mail：info@cs.seiryodenki.co.jp